

令和2年第3回伊達市議会定例会一般質問答弁書

【議員氏名】 渡 辺 雅 子（質問順位4番）

【質問項目】

- 1 新型コロナウイルス感染症における自粛生活中的の支援について
 - (1) 児童虐待について
 - ① 児童虐待報告について
 - ② 子どもの見守り強化アクションプランについて
 - ③ 地域子育て支援拠点の相談事業について
 - ④ 虐待対応ダイヤルの周知について
 - (2) 産後の支援について
 - ① 自粛生活中的の子育て支援について
 - ② 自粛生活中的の精神的な支援について
 - (3) 高齢者支援について
 - ① 自粛生活中的の支援について
 - ② 介護者からの相談について
 - ③ 今後の自粛生活への支援策について

渡辺議員の「新型コロナウイルス感染症における自粛生活中的の支援について」のうち「児童虐待について」のご質問からお答えいたします。

まず、「児童虐待報告について」であります。本市で自粛期間中に把握した件数は2件となっております。

次に、「子どもの見守り強化アクションプランについて」であります。支援が必要な児童に対し、「要保護児童対策地域協議会」が中心となり、これまでの取組に加え、様々な地域のネットワークを活用して、定期的に状況の把握を行うものであります。

本市におきましても、主要な関係機関に周知し、連携を図りながら状況の把握に努めております。

次に、「地域子育て支援拠点での相談事業について」であります。自粛期間中も電話での相談を実施しておりましたが、問い合

わせはありませんでした。

次に、「虐待対応ダイヤルの周知について」であります。市広報紙による周知を行い、国から配付されるポスターを保育所等の子育て関係施設に掲示しております。

次に「産後の支援について」のうち「自粛生活中的子育て支援について」であります。保健師による新生児訪問は、実際に家庭への訪問を行う必要がある支援であることから、十分な感染防止対策を取りつつ、これまでどおり行ってきたところであります。

次に「自粛生活中的精神的な支援について」であります。人と人の接触が制限されていたことから、主に電話による支援を行ってきたところであります。

次に「高齢者支援について」のうち「自粛生活中的支援について」であります。本市では、自粛生活における活動量低下の注意喚起として、広報紙等で高齢者の虚弱の進行予防方法や家庭でもできる体操等の周知を行っております。

また、自粛生活に伴う大きな状態の変化について報告はありませんが、活動自粛により、比較的自立度の高い要支援・要介護認定者の中に、筋力や意欲の低下が見られる方がいたと聞いております。

次に「介護者からの相談について」であります。これまでに、自粛生活による介護負担の増大についての相談はありません。

次に「今後の自粛生活への支援策について」であります。高齢者は、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高いことから、国の「新しい生活様式」や「北海道スタイル」を実践し、介護予防事業や介護サービスの提供に取り組んで参りたいと考えております。